

には訓練に参加者のうち 13 名が参加しました。新型コロナ禍で反省会の開催も見合わせていましたが、3年ぶりの開催となりました。

参加された各局からは次のような意見・要望・反省点等がありました。今後の訓練に活かしていきたいと考えています。(同じような項目について色分けしています)

船橋市総合防災訓練 反省意見等(まとめ)	
ピンク:設備・伝搬、青:運用、緑:PR、黄:市対応	
NO.	内容
反省点1	持参した2台のうちMobil機が途中で受信に移らない状況になった。
反省点2	記録用紙を両面印刷したが記入し難い。次回は片面印刷で用意したい。
反省点3	避難所と設置場所が離れていたため特小無線持ってもらう往復を減らすようにしたい。
反省点4	フレクションボールペンで書いたが雨が降って見えなくなった。鉛筆を使うべきだった。
反省点5	途中で市職員の方と話をしに行ったら、その間に終了電文が流れた。ハンディ持って行くべきだった。
反省点6	会員募集のポスターを張ってアピールすべきだった。
意見要望1	参集職員数を後半の方は報告されていたが必要か。
意見要望2	市担当者の名前が聞き取り難い。「和文通話票」を使ってもらいたい。
意見要望3	連絡会員にならなければ非常通信に参加できないハードルを下げられないか。
意見要望4	参加者から質問が結構あった。体験局を行いハム人口増やしたらいい。
意見要望5	防災訓練参加者から訓練に関する質問が多数あった。市や学校から事前に十分周知しておいて欲しい。
意見要望6	グラウンドゴルフ大会が開催されていた。事前にそのような情報が欲しかった。
感想等1	本部統制局の信号が59で避難所で受信できても逆方向は52-3程度。パワー差を感じた
感想等2	建物反射を利用し、避難所近くで本部と交信可能かトライしてみた。
感想等3	校庭から実施。ハンディであちこち動いてみた。校庭でハンディ機でできたのは良かった。
感想等4	昨年と同様な場所だったが前回よりも信号が弱かった。
感想等5	一番いいのは避難所近傍。避難所から20m程度同軸伸ばせば伝搬良さそう。
感想等6	ANT2つ使ったことで昨年より受信できる局が多かった。
感想等7	中継した時の通信票の書き方が分からない。
感想等8	今回は市役所-避難所の通信はメイン会場のみ実施。他は連絡会のみが通信を行った。
感想等9	レポート交換時に「訓練訓練訓練」つけるべきか迷った。
感想等10	校長に屋上使用を依頼し、スムーズに受け入れてくれた。
感想等11	8:30に校長先生来られるまでは校舎に入れなかった。
感想等12	播鉢の底にあるようなロケーションだが、事前に校長先生に説明し屋上利用できた。
感想等13	市職員の方に当方から受取りに行くように言ったが、結局持ってきてくれた。
感想等14	市の担当者がから「私が通信票を持ってきます」と声をかけてくれた。
感想等15	今回は市職員しっかり対応してくれた。最初に挨拶にも来てくれた。
感想等16	校長先生もハムで理解あり5F屋上が使えた。
感想等17	屋上使うように事前に説明し了解が得られた。(避難場所からは少し遠い)
感想等18	避難場所近傍では受信強度が低いので離れた場所で運用したため市職員が迷ってしまった。

本部統制局の運用状況

今年度は参加局数が減少したことから、全地区統制局を設置せず参加18局の避難所局との電文交換を本部統制局が実施することになりました。

メイン会場である金杉小学校配置局との交信が成立しないのではないかと不安を抱えながら、JA1WHD稲村、JA2SWH佐竹、JF1XPH矢野の3名体制でJJ1YNAの常置場所である船橋市消防指令センターに本部統制局を開局しました。

08:00より各避難所局との開局確認および周波数確保を実施しながら、09:10に訓練開始電文を送信、その後は各避難所局からの報告電文を逐次受信するとともに、144.76MHzでのレポート交換を実施しました。

なお、習志野台第二小学校避難所局JK1QEVとは直接交信が成立しなかったため、大穴小学校避難所局JA1IQXが電文を転送して無事報告を完了することができました。

今後も地区統制局が設置されない場合、直接交信ができず急遽転送が必要になる事態が考えられることから、説明会における通信票の記載要領等の説明が必要と感じました。



本部統制局⇄各避難所 伝搬調査結果

本部統制局(J1YNA/OP: 144矢野、430佐竹)⇄各避難所局 2023/11/26

No.	地区	避難所・統制局	コールサイン	氏名	144MHz		430MHz		備考
					His RS	My RS	His RS	My RS	
1	本部	本部統制局	JA1WHD	稲村 秀一	/	/	/	/	
2			JA2SWH	佐竹 康雄	/	/	/	/	
3			JF1XPH	矢野 浩一	/	/	/	/	
1	西部	塚田小学校	JG1VWO	山本 雄一郎	52	58	54	58	
2		塚田南小学校	JK1FQA	松本 淳	59	58	58	57	
3		法典東小学校	JG1DVG	小池 正人	59	59	54	59	
1	中部	金杉小学校	7N3SHX	宇佐見 政男	59	59	54	59	メイン会場
2		芝山東小学校	JL1CML	木村 昭一	52	59	59	59	
3		芝山中学校	JA1TRM	山本 善宣	59	59	53	59	
1	東部	飯山満南小学校	J11AIU	小室 義夫	59	59	57	59	
2		七林小学校	JS1GXN	井手 明久	57	59	52	58	(7N3WEJ 松本 金弥)
3		田喜野井小学校	JA1TCB	望月 清志	59	59	59	59	
4		習志野台第一小学校	7N4DTR	武田 剛	59	59	54	56	
5		習志野台第二小学校	JK1QEV	具志堅 徳四郎	---	---	---	---	時々31程度で聞こえる。JA1IQXが中継。
1	南部	湊町小学校	JG1LHB	飛田 隆	59	59	59	59	
2		船橋小学校	JA2MGL	和田 清	59	59	59	59	
3		海神小学校	JF1IZZ	太田 公一	59	59	57	59	(JK1UBW 児嶋 敏樹)
1	北部	三咲小学校	JA1XQC	岩橋 忠義	59	59	52	59	(JK1QPR 白石 篤)
2		古和釜小学校	JK1LCT	岡田 和也	59	59	54	59	
3		大穴小学校	JA1IQX	宇田川 齋	59	59	54	59	
4		大穴北小学校	JJ1WPD	島田 竜巳	57	59	54	59	

■メイン会場 金杉小学校担当 7N3SHX 宇佐見 政男

船橋市総合防災訓練の今年のメイン会場金杉小学校に初めてお伺いしました。ロケーションが悪くすり鉢の底のような場所で西方向にマンションが立ち並んでおり、本部統制局に電波が届くかなと思ったので、数日前に学校にお伺いして屋上を使わせていただく許可を得ました。実際に波を出したり各局の声を聴いたりした結果はまずまずで、ホッとしました。そして市役所方向が丁度マンションの切れ目で本部統制局とクリアな交信ができました。今後の参考になります。



当避難所は今年のメイン会場ですので、朝早くから市役所の職員、地域のボランティアの方々が準備のために忙しく動いていました。この会場の受付人数が59名となっていますが、避難所「体育館」での受付の数ですので実際会場に来られた方はこの倍はいらっしゃったと思います。

給水訓練、簡易トイレの組み立て、それにペットを連れての避難訓練も盛況で、興味深く見させて頂く中で、この地域の防災に対する意識の高さを感じました。



給水車による訓練



仮設トイレ設営訓練

■東部地区避難所 田喜野井小学校担当

JA1TCB 望月 清志

事前に教頭先生と打ち合わせを実施していたため、特に説明することなくスムーズに屋上へ案内していただきました。生憎の小雨模様と寒い北風のため、風雨を避けた場所に無線機を設置し、モバイルホイップアンテナはケーブルが届く範囲で且つ金属板がある場所の上に設置しました。



IC-705 を三脚に取り付け、外部電源として 12V Ni-Cd Battery を使用し約 10W の出力を得ることができました。念のため SWR・パワー計にて反射電力を測定し良好であることを確認後、本部統制局と

430MHz にてレポート交換を行い、本部から 58 のレポート、こちらからは 59 のレポートを送り通信設定が完了しました。更に 144MHz でのレポート交換も 59 と良好に行うことができました。

その後、市担当者との避難場所で打ち合わせを行っている間に、災対本部からの総合防災訓練開始電文を聞き損ねる失態を犯し、本部に大変ご負担をかけてしまいました。それ以降、移動時はハンディトランシーバーを携帯するようになりました。

小学校の屋上には東西南北の方位表示が施されており、アンテナ設置場所の参考となりました。また、太陽光発電のソーラーパネルが屋上一面に設置されており、通常時だけでなく災害時にこの電力が活用できるようになっていれば素晴らしいなと思いつつ、小雨模様の屋上からの眺望を楽



しましていただきました。この辺は視界が四方に開けているため、近くに船橋三山放送所があり、田喜野井小学校校歌にも「窓から見えるテレビ塔」という歌詞の通りアンテナが目の前そびえています。避難所にてお会いした校長先生は、若い頃アマチュア無線をやっていたそうで、アマチュア無線が大規模災害時の通信確保に役立つ活動をされている事は素晴らしいとおっしゃっていました。

今回使用した移動無線局の装備は自転車のかごに収まる以下の物としました。

- ・無線機 ① IC-705(10W) ② ハンディトランシーバーIC-S32 (5W)
- ・電源 Ni-Cd Battery (12V 2100mA) (重さ 480g) Apex Technology
- ・SWR・パワー計 SX-600
- ・Dual Band モービルホイップアンテナ + マグネット基台 Assy
- ・折り畳み椅子



船橋市市役所方面を望む



窓から見えるテレビ塔

■西部地区避難所 塚田南小学校担当

JK1FQA 松本 淳

今年も昨年に引き続き、塚田南小学校を担当させていただきました。

昨年は市役所の担当者とのやり取りがなかったので気軽にハンディ機で屋上から運用させて頂きましたが、今年は市役所の担当者からの依頼情報を伝達するという事で、より実戦に即した設備を用意して、できれば避難所から発信することを目標に下準備してきました。



避難所から見ると開けている方向は西方しかないのですが東側に割と高いマンションがあるので、ビームをぶつければなんとかなると思い7エレハ木を自作して持参しました。

ところが設置中に同軸ケーブルにテンションを掛けたらバランスが壊れてしまいました。これは事前に移動運用して予行演習をしておくべきでした。

急遽、避難所でIC-705とノンラジアルタイプのモービルホイップを三脚に据え付けて通信確立を試みるも、相手は聞こえるがこちらからは届かず。さらにいつもは出力10W出ているのに、何故かPD給電ケーブルが動作せず、内蔵バッテリーを使っていて5W出力でした。途中で復旧したのですが原因がわか

らず、仕方がないので避難所で担当者から情報を頂いた後に5階の屋上に移動してハンディで送信するというとても効率が悪い運用になってしまいました。

また、マニュアル通りの送話をしていなかったことに気づき、改めてマニュアル通りの運用をするという基本動作の徹底ができていないことを痛感しました。

来年は下準備を入念に行ってから望む所存です。

■西部地区避難所 塚田小学校担当

JG1VWO 山本 雄一郎



今回の防災訓練では西部地区塚田小学校の担当で、5階屋上のほぼ真ん中で運用しました。

2年前の塚田小学校担当の際は VX-3 のハンディ 2W にハンディ機用ホイップアンテナ（ダイヤモンド SRH770）で手持ち運用でした。今回は ID-52 のハンディ 5W に 5D の 20m 延長ケーブルを接続し（実際に使用したのは 7m 程）、パイプ用アンテナ基台を屋上の防護柵に結束ケーブルで取り付け、その基台にオートバイ用ホイップアンテナ（ダイヤモンド AZ506FXH）を取付けて運用しました。無線機の送受信場所は屋上のペントハウス内です。前回より今日の方が送受信のレポートが悪かったのは、今日の反省会でも出ていました通り、アンテナ基台のアースの取り方と 20m の延長ケーブルによるケーブルロスだと思われます。次回はマグネット基台を購入し屋上の金属部分に直接取付けて 10m の延長ケーブルにて運用したいと思います。

尚、運用に際しては事前の危機管理課から学校への連絡により、学校側は快く屋上等への立ち入りを許可していただきました。

運用状況は下記の写真のとおりです。



■南部地区避難所 海神小学校担当

JF1IZZ 太田 公一

昨年に引き続き海神小学校の総合防災訓練に参加しました。昨年は東西に広がる校舎の南側職員室前にアンテナを設置し、本部統制局とは近さから楽に交信できるのですが北部避難所との交信が出来なかったため、今年は北部方面との交信も考慮し、事前の打ち合わせで屋

上をお借りできる承諾を教頭先生から頂きました。また、当日の市担当者のお名前も伺っておきました。当日は、新入会の JK1UBW 局の見学もあるとのことで、自分なりに訓練の流れやポイントを説明できるようにイメージトレーニングをして本番に備えました。

前日にドキュメント類のプリントを済ませ、機材は朝食後に準備のつもりでしたが、予想外の雨の対策はしていませんでした。寒さには万全の準備が出来ていたので、時間的な余裕がありました。教頭先生から屋上の使用許可は得ていましたが、天候不良から 4 階の東の教室をお借りすることに変更しました。8 時 20 分にはアンテナの架設を終了し、本部統制局とのレポート交換も早々に済ますことが出来ました。担当の桐谷（きりや）様とも挨拶が出来、準備完了しました。北部方面の各局も殆ど受信可能でした。

総合訓練が始まると、桐谷様から参集人数の報告を頂き無事に本部統制局への報告をすることが出来ました。見学の JK1UBW 局にも各場面での説明や 430MHz と 144MHz の 2 波受信の様子や、それぞれの交信状況も見て貰い、非日常のシーンを経験する事が出来たのではないかと感じています。



設備：FT2D+5 エレ八木、ID-52+ノンラジアル型モービルホイップ、VX-3(144MHz)

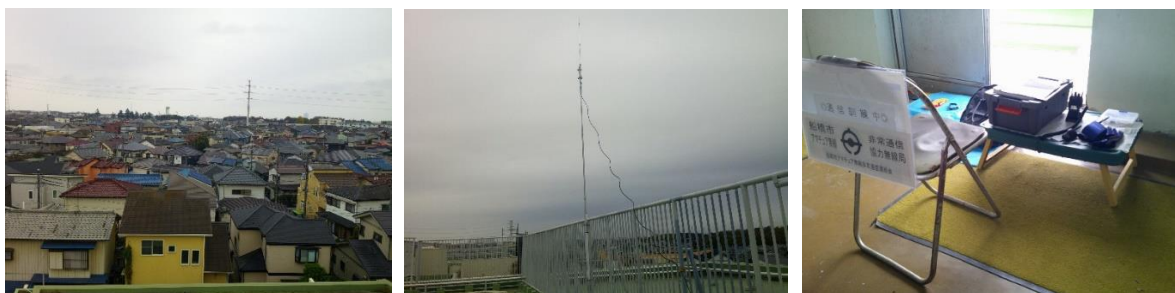


■北部避難所 古和釜小学校担当

JK1LCT 岡田 和也

朝 8 時に古和釜小学校到着。事前にご挨拶、打ち合せた菊池教頭先生から鍵をお借りし、屋上（校舎は 3 階建。1 階分上がり屋上へ。地上高約 25m）にアンテナ（1.1m モービルホイップを 4.5m 伸縮ポールいっぱい延ばし）を設置しました。雨が降っていたので、予備に持参した 20m 長ケーブル（5D-FB）を入口踊り場まで引き込み、交信場所の準備をしました。近隣には市役所方向に高い建物等の障害物は見受けられませんでした。当初立てた位置からは本部統制局との伝搬状況はあまり芳しくなく（メイン 432.76MHz）、ケーブル長ギリギリまで位置を移動した結果 55 のレポートをいただきました。長めのケーブルを

持参して良かったと思えました。本部統制局からの伝搬状況は 59 で良好。よって、同位置にアンテナを固定し、設営を完了し、9 時少し前に避難所（体育館）へ降りました。



市参集職員、学校職員、顔見知りの古和釜分署々員、消防団員、及び松が丘地区連合町会役員と面談とシェイクアウト訓練を済ませ、9 時 5 分には交信場所に戻り待機。雨と寒さをしのげて良かったのですが、同校校庭は 5～6m 低く、更にスロープを上がり校舎玄関から 3 階+1 階分の屋上（運用場所）まで、避難所（体育館）からは距離と上下移動を要し、通信担当職員さんと「大変ですね。」と苦笑いです。



因みに、体育館玄関前から本部統制局へはハンディ機（5W、純正ホイップアンテナ）432.76MHz での交信はできませんでした。

本部統括局と各地区避難所間をワッチしたりレポート交換をしたりしましたが、南部地区の局とはアンテナの方向でしょうか入感状況厳しく、また、距離的に近い東部地区局が弱く、ノイズが入る局もあったのは意外でした。今回地区統制局との中継がなく心配でしたが、本部統制局とはメイン 430MHz、サブ 144MHz とともに 59 でオールコピーでき、全体の 8 割近くの局をとらえることができたことは良かったと思えます。

古和釜小学校は、地元町内会、民生委員担当地区の指定日避難場所・避難所であり、毎年訓練に参集しているところです。敷地や建物配置等はわかっていたましたが、全域の伝搬状況については把握できていません。今回屋上から 5W 送信+モバイルホイップで交信できることがわかりましたので、次回訓練時は校庭敷地から入感可能な場所を探したいと思います。

【機材・備品】

- ハンディ機（ICOM IC-S10）
 - 1.1m 144/430MHz モービルホイップ（第一電波工業 NR780R）
 - 4.5m 伸縮ポール（第一電波工業 DAP450）
 - 20m ケーブル（5D-FB）

・ 予備機ハンディ機（YAESU FD5D）

91.5cm ロッドアンテナ（第一電波工業 SRH770）

※両機とも純正バッテリーを使用。特に ICOM バッテリーは、終日電源入れっぱなし(14~15h)でも電池マーク FULL 表示のままでした（電源 on 時 8.2V → off 時 7.6V）。

■ 中部避難所 芝山中学校担当

JA1TRM 山本 善宣

今回は地域の避難所開設場所の芝山中学校にて船橋市総合防災訓練に参加しました。

芝山中学校では屋上の利用が不可、非常階段は北側のためアンテナ設置が難しいため統制局（市役所）方向が開けている校舎寄りの朝礼台で運用を行いました。

機材最小限で徒歩移動を予定していましたが、小雨のため車で移動、来校者駐車場でモバイル局を開設（FT-712L+モバイルホイップ SB4）しました。しかし避難所は西側の体育館内であるため閉局し、統制局とのメリット交換の結果朝礼台付近でハンディ機により運用することとしました。



ハンディ機：144MHz 用、430MHz 用に 2 基（内臓バッテリーと標準アンテナ）
YAESU FT-65 ICOM IC-T10

訓練開始後、避難者受付会場にて市役所の避難所担当者と避難訓練者を待ち受けるも参集人数は 4 名（雄鹿野自治会）のみで、他の避難訓練者は近隣の芝山東小学校、芝山西小学校に分散して参集されたとのことでした。

少人数であったためか全員ですべての訓練を体験し非常に有意義で、特に避難所運用のビデオ鑑賞については災対本部への無線での報告なども説明されておりました。



船危管第2040号
令和5年12月6日

船橋市アマチュア無線非常通信連絡会
会長 稲村 秀一 様

船橋市長 松戸 徹
(公印省略)

令和5年度船橋市総合防災訓練実施協力のお礼について

寒冷の候、貴職におかれましては益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。
平素より、本市防災行政につきましては、格別のご理解とご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

11月26日(日)に実施いたしました、令和5年度船橋市総合防災訓練について、災害対策本部と各訓練会場で災害時の情報収集・伝達訓練を行い、無事に終えることができました。

これも皆様のご協力の賜物と深く感謝申し上げます。

失礼ながら書中をもちましてお礼とご挨拶を申し上げますとともに、引き続き災害時の非常時緊急連絡体制へのご協力をいただきますようお願いいたします。

今後とも防災行政の推進並びに防災意識の普及向上に努めてまいりますので、一層のご理解、ご協力を賜りますよう重ねてお願い申し上げます。

船橋市役所 市長公室 危機管理課 総務係 担当：白崎・小林 TEL 047-436-2032 FAX 047-436-2034 Mail bosai@city.funabashi.lg.jp
--